

授業概要

本講義では経済政策がなぜ必要かという経済政策の課題と目的を問う基礎理論からはじめます。政府は市場の失敗から国民を守るセイフティーネットとして様々な経済政策をおこないます。特に第二次世界大戦後の日本の経済政策は世界経済の影響を多く受けており「世界の中の日本」という視点が必要です。具体的には高度成長期の所得分配政策や、マクロ的な財政政策、金融政策などをその時代背景とともに理解します。市場原理の限界と経済政策を経済学と政策科学という二つの領域から学びます。

授業計画

第 1 回	経済政策の目的(ガイダンス)
第 2 回	市場の原理と経済政策
第 3 回	市場の失敗と経済政策
第 4 回	市場の成長と安定化政策
第 5 回	財政政策
第 6 回	金融政策
第 7 回	再分配政策
第 8 回	第二次世界大戦後の世界経済
第 9 回	戦後の世界金融システム
第 10 回	世界金融システムと日本経済
第 11 回	戦後復興から高度成長期の経済政策
第 12 回	石油ショックと高度成長の終焉
第 13 回	日本経済の構造変化と経済政策
第 14 回	私たちの暮らしと経済政策
第 15 回	経済政策とは(まとめ)
第 16 回	定期試験

到達目標

市場経済の発展と経済政策との関係を理解する。社会政策と経済政策の違いを理解する。

履修上の注意

配布プリントを活用してノートをとること(ノートの取り方は最初に説明します)。
必要と思われるときに確認ペーパーを実施する。

予習・復習

ノート(プリント)を利用して復習すること。

評価方法

確認ペーパーなど(20%) 期末試験(80%)

テキスト

テキストは指定しないが参考文献を授業時に指示する。